

令和8年度 天筒浄化センター耐震化実施方針策定業務委託（単独）  
仕 様 書

1 目的

令和8年度 天筒浄化センター耐震化実施方針策定業務委託（単独）（以下、「業務」という。）は、敦賀市（以下、「市」という。）天筒浄化センター全体の耐震化を実施する基本方針の策定を目的とする。

耐震化の検討は、既存施設の耐震補強だけにとられず、今後の事業動向を鑑みた施設規模の適正化や維持管理の効率化等を考慮した施設の移築を含むものとする。

2 対象施設

- (1) 名称：天筒浄化センター
- (2) 位置：敦賀市天筒町5-9外
- (3) 下水排除方式：分流式
- (4) 処理方式：凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法、標準活性汚泥法
- (5) 能力：計画1日最大処理水量 39,250m<sup>3</sup>/日

3 業務内容

業務の作業項目および作業内容は下記のとおりとする。

(1) 資料収集・整理

既存施設・設備の完成図書、上位計画・関連計画（ストックマネジメント計画、下水道経営戦略等）、維持管理関連資料など、検討に必要な資料を収集・整理する。

(2) 現地調査

現地の状況を把握するため、下記の事項について現地調査を行う。

- ア 既設施設・設備の運用状況
- イ 施設・設備配置、周辺状況
- ウ 配管・配線ルート
- エ 敷地内の土地利用状況（改築更新用地の有無、敷地境界周辺の状況等）
- オ その他、検討上必要な事項

(3) 基本条件の検討

「3(1) 資料収集・整理」「3(2) 現地調査」で整理した内容に基づき、下記の内容を整理する。

- ア 上位計画・関連計画等
- イ 関連法令・規制等
- ウ 既存施設の現状および将来計画（改築更新計画）
- エ 維持管理・運転管理の状況
- オ 施設・設備計画の制約条件
- カ 敷地条件（地歴調査、文化財調査を含む）

キ その他、検討上必要な事項

(4) 施設配置計画等の概略検討

経済性、維持管理の難易、環境条件等を考慮し、施設・設備の配置計画を複数案（3～5案）立案し、比較検討（経済性、維持管理性、事業実現度など）を行い、耐震化実施方針の最適案を選定する。

天筒浄化センター耐震化実施方針は、水処理機能および汚泥処理機能を維持しながら行う必要があるため、選定した最適案に対して、既設の施設能力や機能の維持を踏まえた段階的整備における課題を整理する。

(5) 概算費用および事業スケジュールの検討

前項までの検討結果に基づいて、耐震化実施方針に掛かる概算費用を算出するとともに、段階的整備計画を踏まえた事業スケジュール（年次計画）を検討する。

また、方針の実施にあたって必要な調査や届出の内容や、その概算費用を整理する。

(6) 耐震化実施方針のとりまとめ

「3(3) 基本条件の検討」～「3(5) 概算費用および事業スケジュールの検討」の結果に基づき、天筒浄化センター耐震化実施方針をとりまとめる。

方針のとりまとめと合わせて、概略計画図（一般平面図）を作成する。

(7) 報告書の作成

上記の結果を報告書に取りまとめる。また、報告書の概要版を作成する。

(8) 計画協議

初回、中間（2回）、最終の4回協議を行う。

#### 4 提出資料

(1) 報告書（A4版） 2部

(2) 報告書データ 1式

データは、MS Word/Excel や CAD データ等の編集可能なオリジナルデータおよび報告書を PDF 化したデータとする。また、報告書に使用しなくとも打合せ等に使用した重要なデータや、既存図面をスキャンしたデータは、整理のうえ報告書のオリジナルデータと共に提出するものとする。提出するメディアは CD または DVD とする。

業務の対象範囲

